「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

小中学校における「森林教育」

町の面積の大部分を占める森林は、私たちの暮らしに密接に関わっており、日南町にとって貴重な財産と言えます。木材等の資源は林業をはじめとする様々な産業に役立ち、古くは「たたら製鉄」の発展にもつながっていました。また、水を貯えたりCO_2を吸収したりすること等、環境面でも大きな役割を果たしています。

日南小・中学校では、「森林について」学んだり、自分たちの生活との関わりやそこで働く人々等、「森林を通して」学んだりすることを通して、ふるさと日南町のよさを見つける取り組みを「森林教育（木育）」として行っています。

小学校では、６月に入って、５年生が林業の学習や薪わり体験を行いました。また、４年生は多里の出立山に出かけて森林を観察したり、学校で巣箱づくりをしたり、日野川の源流に行ったりと、様々な学習を行っています。いずれの学習も、教室を離れて行う活動は、子どもたちにとって楽しく、学びの多いものになっています。

中学校では、５月19日（水）に３年生が、28日（金）に２年生が日野川源流に出かけ、森林と環境についての学習を行いました。生徒は森林と水の関係や植物のこと等、多くのことを学ぶことができました。源流の小さな水の流れがやがて大きな日野川になることにも感動があったようです（中学生の様子は、コミュニティ・スクールだよりにも掲載しています）。

これからも森林とともにある町「日南町」のよさをたくさん発見してほしいですね。

地域コーディネーターだより

１学期も終わり、楽しい夏休みに入りました。児童・生徒たちはどんな目標を持ち、これをどのように達成していこうか、いろいろ考えて学校生活を謳歌してきたと思います。行事の延期や中止などがあり、まだまだ自粛の中での生活ですが日々学業に励んできたと思います。この3か月間、私なりの感想を一言で言わせていただくと児童・生徒と先生の関係が昨年と比べ、とても良くなってきたと思っています。これは私だけの感想でなく保護者、ＣＳサポーター、先生からも聞きました。これからもより良い保育園、小学校、中学校になればと期待するところです。ＣＳサポーターの方々には本当に感謝申し上げます。

前号でお知らせしたとおり、小学校１年生の授業「生活科」の様子を紹介します。内容は音楽室、保健室に置いてあるものについて、児童がクイズを出し、大人が答えるという授業でした。なかなか当てることが出来ず、「ヒントをだして」と言ったら、班の友だちと考えて、上手にヒントをくれました。これがまたすごいヒントで感心しました。ちょっとしたことでしたが子どもたちの能力は計り知れないものがあると改めて感じた出来事でした。２学期も友だちと楽しく学習を進めていってほしいと思います。

クイズ　化学編

夏休みの楽しみは、お祭りのかき氷が定番です。子どもも大人も本当に好きですね。さて、問題です。氷がとけると水になり、水を温めるとお湯になります。もっと温め、ある温度になると蒸気となります。さて雪がとけると何になるでしょう。今回は保育園児・小学校低学年のお子さんに考えてほしい問題です。

※前号の答え　③88％

連絡先　教育委員会　82-1118　　コーディネーター荒金 敏文　携帯 080-5232-7712